「撮影レポート」 2011.9.17

稽古風景を見せてください。

文:横堀ふみ

9:45　南さん、内山さん、斉藤さん、カメラマンの阿部さんがDANCE BOX(以下dB)に集合。歩いて神戸野田高等学校へ。雨がしとしと降ってきた。ダンス部の稽古場は4階。道中にある教室やロッカーなどの懐かしい光景に一同ため息。スタジオに到着すると、大きな窓、広く開放的な空間に再びため息。この広さを取れる稽古場は神戸にも大阪にもなかなかない。

10:05　お揃いのTシャツを着たダンス部の皆さんが一人ひとり順番に挨拶しながら登場。

10:15　まずは野田高校の普段のトレーニングを見せてもらう。軽快な音楽に掛け声をのせ、プリエなどの基本のフォームを組み合わせて、稽古場の端から端までライン上を踊りながら前進。そこにdBからの3名が合流、四苦八苦。一気に場の空気がほぐれてきた。

10:40　次に体育祭で踊ったジャズダンスを見せてもらう。あどけなさと、大人びた感じが入り混じっている。ダイナミックな構成と節目のポーズが決まっている。

10:50　最後に全員で集合写真。

11:00　全員でdBに移動。ダンス部の皆さんは、2列に整列して移動。紫のTシャツのインパクトもあり、歩いているだけで人目を引くなぁ。来る時は雨だったのが、からっと暑いぐらいに晴れている。

11:15　dBに到着。この夏に、dBと野田高校ダンス部とでダンスをつくるプロジェクトを行った。10日間ほど、この劇場に通い詰めた子たちが「ただいま〜〜」って感じで入ってきた。嬉しい瞬間。dBの場が踊る人にとってのホームとなればと思いながらの15年。

11:20　南さんの舞踏のトレーニングを全員で。フォームからえるダンスとは違って、身体の中にいろいろなイメージを重ねていきながら、動きの動機を作っていく。水が、頭のてっぺんや足先など体の様々な部位に移動していくようなイメージを浮かべながら動いてみる、のようなことなど。

11:50　そして、南さん達のダンスを見せてもらう。南さんの感情を排した緻密な動きが次々と繰り出される。南さんの"動"に対して、内山さんと斉藤さんの"静"かに歩き続けているコントラストが際立つ。

12:00　最後に全員で集合写真。

12:05　dBの大谷作成のくすじシチューンを全員で食べる。お腹いっぱいになり「ごちそう様〜！！」。本日の撮影メニューは全て終了。ダンス部の皆さんが帰る頃には雨がさめざめと降っている。

○南弓子＋内山大、斉藤亮
11月2日(火)Under the Worklight(作業灯のもとで)参加、新作「万」を上演。構成・演出・振付・出演の南弓子は、京都市立芸術大学美術学部卒業後にダンスと出会った異色の経歴の持ち主。

○神戸野田高等学校 創作ダンス部
平成1年創部、今年で22周年を迎える、全日本高校・大学ダンスフェスティバルなどの大会に出場し受賞を重ねる。

「私が出会ったダンスの達人 第2回」

文:大谷徳

2009年2月、仙台でみやぎダンスの公演「とおく　とおくの　むこうから」、「Kiranの時間」を観る機会に恵まれた。みやぎダンスは定行俊彰さんを中心に障がい者と健常者が協働して舞台芸術作品を創る活動を98年からスタートした障がい者のパフォーミングアーツにおける先駆的な存在である。この公演では、構成された作品と即興を中心にした2作品が上演された。その両方の作品に出演していたひとりのダンサーに釘付けになった。安藤共博さんである。彼は舞台上で起こっていること全てを把握して踊っているように見えた。他のダンサーの存在、観客のこと、空間の把握、時間の流れ等、全てのことを無意識のうちに意識化できているように思った。従って動きが説明的にならず、存在そのものが際立ってくる。その後2010年の3月、東京で「コラボ・シアター・フェスティバル2010」(主催エイブル・アート・ジャパン他)を開催した折に、「はらっぱのダンス」というプログラムのなかで、安藤さんを選ばせてもらった。振付けは砂連尾理さん。彼の提案で同じみやぎダンスで活躍する佐々木大基さんとのデュオを上演することになった。砂連尾さんの振付けは動きを振付けるのではなく、ふたりの関係性を表現として引き出すことに徹していた。ダンスにとって大切なこと。「いかに存在として現場に立てるのか。」「観客も含めて他者との関係性を豊潤なものとして提示できるのか。」そのようなことを感じさせてくれる舞台であった。

「Studio dB Kobeレポート vol.2」

文:西岡樹里

dB主催【GAGAクラス】をご紹介!!!講師は、2009年日本人として始めてGAGA講師の許可を得、それを広める活動をされている敷彩綾子先生。GAGAとは、オハッド・ナハリン(イスラエル・バッドシェバ舞踊団芸術監督)の考案した「身体を動かす喜びを全ての人が実感できる」動きの方法。クラスは75分間ノンストップ。緩やかな動きから、大きなうねりや流れへと展開。講師の声を道しるべに、実践するもの一つ一つを最後まで重ね続けます。終わった時身体は大きなエネルギーを得ることができ、それはより良い身体表現の実現だけではなく、素晴らしい一日を過ごすことにも繋がるのです。オハッドの言葉より。―GAGAは、様々な事象を同時に行うことへの挑戦だ。この挑戦を実施することがGAGAの基礎となる。そして同時に、私たち、つまりGAGAを実践する者は、ゆっくりした動きでスペースに広げる、それは体の素早い動きにもなる。この動きのダイナミクスは、同時に他の何かが進みはじめる第一歩となる―。

「dBコーディネート事業」

文:橋本麻希

10〜11月、ダンスボックスは２つのコーディネート事業を行っています。1つ目は新潟市地域・魅力創造部が主催する「福祉現場におけるパフォーミングアーツの活用」事業の取り組みの一つとして、知的障害者通所授産施設「ほがらか福祉園」でのWSの制作です。講師は砂連尾理さん。8〜10月に述べ14回のWSを行い11月に成果発表会を行います。創造的まちづくりの視点からコンテンポラリーダンスを活用するというケースは珍しく今後の展開に期待です。2つ目ですが、大道芸ワールドカップin静岡2011の関連企画である「DAIDOGEI INシアター2011」は、ダンスボックス代表の大谷が統括しています。パフォーマーと大道芸人３人によるたった一回限りのオリジナル作品。11月3日(祝)静岡市民文化会館にて開催です。

DANCE BOXとは

DANCE BOXを直訳すると「踊るハコ」。ハコには、劇場空間としての"ハコ"や、"ハコ"を開けるといろんなダンスが飛び出してくる、そんなイメージを込めています。1996年に、大阪で始動してから、関西、国内各地、そして世界各地の振付家やダンサー、のべ300名以上が踊ってきました。2002年にNPO法人化し、2009年に大阪から新長田/神戸に拠点を移しました。120席の劇場[ArtTheater dB神戸]と、ダンススタジオ[Studio dB KOBE]をベースに、舞台芸術(おもにダンス)を「つくる」「上演する」「出会って何か始まる」現場が、劇場や新長田の街中で、いつも起こっているような状況となることを目指しています。
主な活動の柱は、[1]国や地域を越えて、現代社会で育まれている同時代のダンスを紹介するプログラム、[2]アーティストによる実験・実践・鍛錬の場となるプログラム、[3]アーティストが新長田に滞在しながら、ダンスや演劇等の作品を創作するプログラム、[4]劇場を飛び出して、ダンスのもつ力を発見し、活かし、発信するプログラム、です。

2011年度 主催 / 提携事業

4月
- ArtTheater dB神戸付属 神戸市民劇団vintage 春興行
- DANCE BOX国際交流基金 地球市民賞 受賞報告会 & Dance Live in KOBE #1

5月
- K-ACDF関連企画　Case Studies #1 アジアのフェスティバル
- 竹之内洋志 舞踊公演【共催】

6月
- 音楽びの会【提携】
- 日野晃 Real Contact公演【提携】
- K-ACDF関連企画　「Asia Interactive Research」関西支部 始めましての回

7月
- 双子の未亡人 ダンス公演【提携】
- 山田うん 夏の合宿 7日間
- DANCE BOXレジデント・アーティスト 川崎歩

8月
- 身体表現講座 夏期
- くぼくぼアワー＞Ran Slavin Sound and Film Live
- 新長田から新しいメディアをつくろう

9月
- ＜UWL＞黒子沙緒恵、宮北裕美

10月
- panem et circenses ダンス公演【提携】
- くぼくぼアワー＞A. Iter Sessio
- いわき総合高校演劇部神戸公演

11月
- 大阪薄在制作シリーズ by ジェコ・シオンボ
- ＜UWL＞南弓子
- ArtTheater dB神戸付属 神戸市民劇団vintage 秋興行

12月
- モノクローム・サーカス　ダンス公演【提携】

1月
- DANCE BOXレジデント・アーティスト 浅野春生
- Revival/北村成美
- Dance Circus KOBE #3

2月
- KOBE-Asia Contemporary Dance Festival #2

3月
- ＜UWL＞山田和美

※K-ACDF…KOBE-Asia Contemporary Dance Festival
※UWL…Under the Worklight(作業灯のもとで)

平成21年度神戸市パートナーシップ活動助成
助成：芸文化・芸術による阪神地域振興財団
アサヒビール芸術文化財団

問合せ チケット予約
Tel: 078-646-7044　Fax: 078-646-7045
Mail: info@db-dancebox.org
Web: http://www.db-dancebox.org/
Dance Box

企画制作:NPO法人DANCE BOX／プロデューサー:大谷徳／事務局長:文／プログラム・ディレクター:横堀ふみ／スタッフ:辻愛緑、西岡樹里、田中幸恵／舞台:大田和司、難波麻春／照明:三浦あさ子、岸田緑、森田智子、坂本幸子、茂木紀恵／音響:星鷹神／記録映像:堀谷川一夫、井上大志／記録写真:阿部綾子／グラフィック制作:升田学／WEB制作:内山大／dB freak 編集補佐:橋本麻希

■NPO DANCE BOX / ArtTheater dB 神戸
〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにづか4番館4階
TEL: 078-646-7044　FAX: 078-646-7045

■ Studio dB Kobe
〒653-0037 神戸市長田区大橋町5-1-1 アスタプラザイースト地下1階
TEL: 078-742-7220

■ArtTheater dB 神戸へのアクセス
○JR新長田駅より徒歩8分
>> JR三ノ宮駅から新長田駅まで9分
>> JR大阪駅から新長田駅まで30分
(新快速をご利用、神戸駅にて普通電車に乗換え)
○地下鉄駅ケ林駅より徒歩3分
大正筋商店街、アスタくにづか4番館4階

10 11

福島県立いわき総合高校演劇部「Final Fantasy for XI.III.MMXI」神戸公演

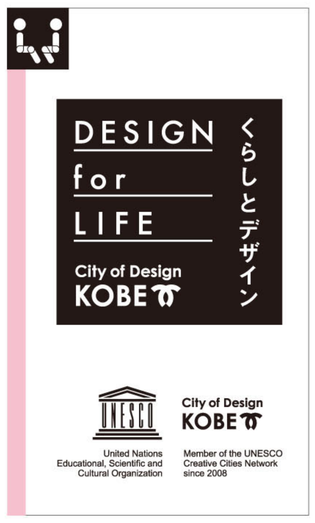
日時：10月9日（日）14：00 / 19：00、10日（月祝）14：00
料金：一般前売￥2,000-／一般当日￥2,500-／高校生以下￥1,000-
構成・脚本：いしいみちこ（いわき総合高校教員）
演出：長瀬有紀子（いわき総合高校演劇部3年生）
出演：いわき総合高校演劇部員18名
会場：ArtTheater dB神戸
予約・問合せ：NPO法人 DANCE BOX

ダンスボックスが縁あって出会ったいわき総合高校の演劇部の皆さん。震災以降に制作された演劇作品。関西では神戸が初の上演です。

〔サンテレビ公開収録〕【地域プログラム】

笑い飯・千鳥の舌舌舌舌（ベロベロタンタン）

日時：10月11日（火）、11月8日（火）
料金：無料　※なお観覧には、下記サイトより事前申込が必要です。
会場：ArtTheater dB神戸
http://www.sun-tv.co.jp/berotan/



「KOBEデザインの日」記念イベント2011

◎カフェ雑談「くらしをしあわせにするデザイン」
日時：10月13日（木）18：30〜20：30
◎絵本がつなぐ子どもの笑顔　〜神戸から東北へ〜
日時：10月16日（日）10：00〜17：00
◎神戸市長とデザイン都市を和やかに語り合う会
日時：10月16日（日）17：30〜18：30

会場：Art Theater dB神戸
予約・問合せ：「KOBEデザインの日」記念イベント2011事務局
tel：078-221-0999（各詳細はお電話でご確認ください）
http://www.kobe-design.net/

8日〜16日は参加絵本作家の原画を会場ロビーにて入札による販売を実施。売り上げの一部が東北の震災復興支援に活用されます。

〔ぽこぽこアワー vol.2〕 A.lter S.essio

日時：10月28日（金）20：00
料金：前売￥2, 000-／当日￥2, 500- ＋1ドリンク
出演：A.lter S.essio（アルテセッシオ：yum高山啓子／ファブリス・プランケット）、東野祥子、巨人ゆえにデカイ
会場：ArtTheater dB神戸
予約・問合せ：NPO法人 DANCE BOX

ミュージシャンも絶賛するArt Theater dB神戸の音響空間を活かしたシリーズ企画第２弾!! 今回は海外で活躍するアーティストたちのコラボです！

〔Under the Worklight〕　南弓子

日時：11月2日（水）　20：00
料金：前売￥1,800-／当日￥2,000-
構成・演出・振付：南弓子
出演：内山大、齋藤亮、南弓子 他、万人たち
会場：ArtTheater dB神戸
予約・問合せ：NPO法人 DANCE BOX

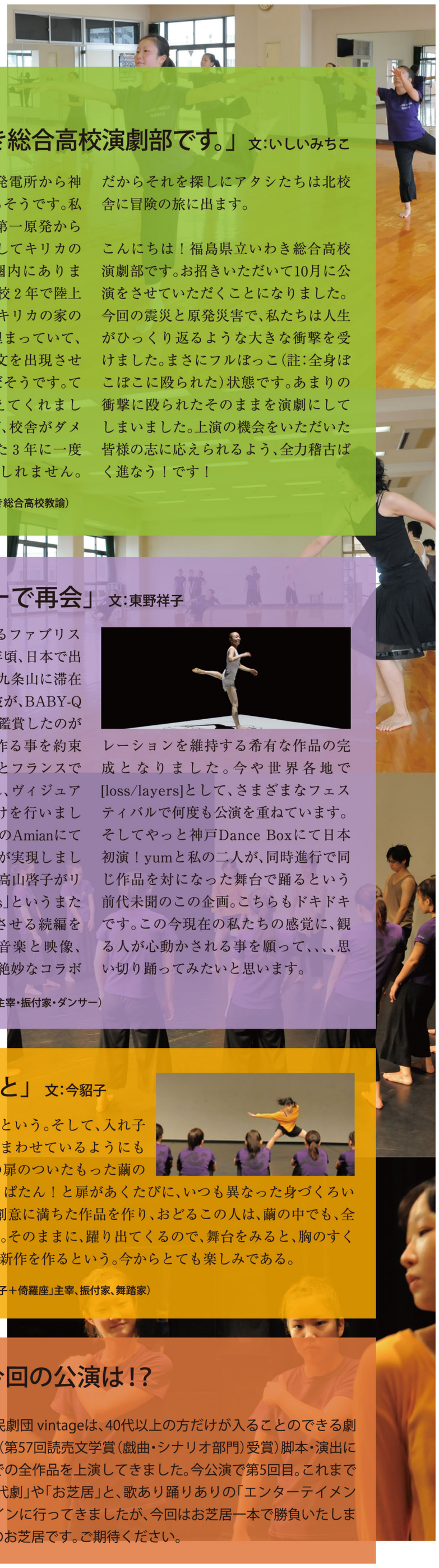
本誌の表紙を飾ったダンサー南弓子による新作。Under the Worklightは、極めてシンプルな舞台の状況下において、表現の【解放区】をつくる試みです。

Art Theater dB神戸付属市民劇団 vintage 第５回本公演「どうしてこんなに心がときめかないの。」

日時：11月25日（金）19：00、26日（土）15：00、27日（日）15：00
作・演出：菱田信也
料金：一般￥2,000-／当日￥2,300-／高校生・65歳以上・障害者・介助者￥1500-／中学生￥1000-
＊未就学児・小学生のご入場はお断りしております
会場：ArtTheater dB 神戸
予約・問合せ　NPO法人 DANCE BOX

ダンス　演劇　音楽　ワークショップ　シンポジウム　TV公開収録

Topics



「こんにちは！福島県立いわき総合高校演劇部です。」 文：いしいみちこ

東京電力福島第一原子力発電所から神戸までは606km離れているそうです。私たちのいわき総合高校は第一原発から45Kmの所にあります。そしてキリカの家は第一原発から20km圏内にあります。キリカっていうのは高校２年で陸上部のエースの女の子です。キリカの家の庭にはタイムカプセルが埋まっていて、それがどうやら復活の呪文を出現させるアイテムに関係あるのだそうです。てか、そうシミズさんが教えてくれました。復活の呪文が現れれば、校舎がダメになって取りやめになった３年に一度の文化祭も復活するかもしれません。だからそれを探しにアタシたちは北校舎に冒険の旅に出ます。

こんにちは！福島県立いわき総合高校演劇部です。お招きいただいて10月に公演をさせていただくことになりました。今回の震災と原発災害で、私たちは人生がひっくり返るような大きな衝撃を受けました。まさにフルぼっこ（註：全身ぼこぼこに殴られた）状態です。あまりの衝撃に殴られたそのままを演劇にしてしまいました。上演の機会をいただいた皆様の志に応えられるよう、全力稽古ばく進なう！です！

いしいみちこ（劇作家・演出家・いわき総合高校教諭）

「ぽこぽこアワーで再会」 文：東野祥子

『A.lter S.essio』を主宰するファブリスプランケットと私は2006年頃、日本で出会いました。京都のヴィラ九条山に滞在して作品を作成していた彼が、BABY-Qの[GEEEEK]公演を大阪で鑑賞したのがきっかけで一緒に作品を作る事を約束し、一旦帰国。その後、日本とフランスでクリエーションを繰り返し、ヴィジュアルと音楽をベースに振付けを行いました。そして2007年、フランスのAmianにて「Loss」が出来上がり、公演が実現しました。その「Loss」をYumこと高山啓子がリクリエーションし、「layers」というまたその後の世界をイメージさせる続編をyumが振付けし、身体と音楽と映像、類い稀なる3セクションが絶妙なコラボレーションを維持する希有な作品の完成となりました。今や世界各地で[loss/layers]として、さまざまなフェスティバルで何度も公演を重ねています。そしてやっと神戸Dance Boxにて日本初演！yumと私の二人が、同時進行で同じ作品を対になった舞台で踊るという前代未聞のこの企画。こちらもドキドキです。この今現在の私たちの感覚に、観る人が心動かされる事を願って、、、、思い切り踊ってみたいと思います。

東野祥子（Dance Company BABY-Q主宰・振付家・ダンサー）

「南弓子さんのこと」 文：今貂子

からだは、容れものであるという。そして、入れ子細工のように、その人を住まわせているようにも思う。南さんは、たくさんの扉のついたもった繭のようなものに、住んでいて、ぱたん！と扉があくたびに、いつも異なった身づくろいで、現れる——　美と力と創意に満ちた作品を作り、おどるこの人は、繭の中でも、全速力でおどっているらしい。そのままに、躍り出てくるので、舞台をみると、胸のすく思いがする。「万」を主題に、新作を作るという。今からとても楽しみである。

今貂子（舞踏ダンスカンパニー「今 貂子＋倚羅座」主宰、振付家、舞踏家）

劇団vintage、今回の公演は！？

Art Theater dB神戸付属市民劇団 vintageは、40代以上の方だけが入ることのできる劇団です。芸術監督：菱田信也（第57回読売文学賞（戯曲・シナリオ部門）受賞）脚本・演出によって、旗揚げからこれまでの全作品を上演してきました。今公演で第5回目。これまでは新長田を舞台にした「時代劇」や「お芝居」と、歌あり踊りありの「エンターテイメント・ショー」の2本立てをメインに行ってきましたが、今回はお芝居一本で勝負いたします。大人による大人のためのお芝居です。ご期待ください。

広告募集！

発行部数：8,000部
発行回数：2ヶ月に１回
配布先：神戸／関西を中心としたダンス公演や、劇場、ギャラリー、映画館、アートセンター等の文化施設。
新長田では、大正筋商店街、丸五市場、神戸映画資料館など。
広告料：ダンスボックスまでお問い合せ下さい。
広告サイズ各種：大：80×207mm
中：80×137mm
小：80×67mm
問合せ：ダンスボックス
TEL.078-646-7044

とびだせ db

DANCE BOX 劇場外企画！！

ダンスボックスでは劇場を飛び出してのプログラムも行います。行楽の秋！この秋は野外プログラムや大阪でのプログラムも充実です！

予約・問合せ：
NPO法人DANCE BOX

新長田

地下鉄・海岸線で「Shall we Dance !?」北村成美+Revivalダンサー達

日時：10月16日（日）15：00集合
会場：新長田駅前広場
「新長田駅」⇔「三宮・花時計前駅」往復
料金：￥1000-（乗車券込み）

地下鉄海岸線・貸し切り列車内がダンスホールに！？今まで見慣れた風景や場所が、ちょっとワクワクする空間に。子供からお年寄りまでどなたでもお楽しみ頂けます。
※「神戸デザインの日」記念イベント2011

新長田

dBレジデント・アーティスト 浅野泰生

①日時：10月23日（日）14：00
会場：新長田各所
②日時：11月23日（水/祝）時間調整中
会場：新長田各所
料金：無料

dBレジデント・アーティストの後期は、浅野泰生さんです。数回にわたって新長田の街中でパフォーマンスを繰り広げ、そこで起こったこと、出てきたことを最終の成果上演へと持ち込みます。成果上演は1月に開催予定。街でのパフォーマンスの詳細は、随時、DANCE BOXのホームページにアップします。

大阪：「アートエリアB1」

大阪滞在制作シリーズ by ジェコ・シオンポ with contact Gonzo

①「創作コトハジメ」contact Gonzoパフォーマンスとアーティスト・トーク
日時：10月26日（水）19：00
会場：なにわ橋駅地下駐輪場（90名限定/要予約）
トーク会場：アートエリアB1（50名/予約不要）
②「ジェコ・シオンポとcontact Gonzoによる映像作品プレミア上映」
日時：11月12日（土）15：00
会場：アートエリアB1（70名）
料金：無料

インドネシアのパプア地方の踊りとヒップホップを融合させたジェコ・シオンポと、「痛みの哲学 接触の技法」を謳い大阪を拠点に活動するcontact Gonzoが大阪の街を舞台にダンス映像作品を制作し、プレミア上映致します。